

令和4年度

## 第1回芽室町スポーツ推進委員会議議事録

とき 令和4年4月18日（月）  
18時30分～19時30分  
ところ 芽室町役場本庁舎2階会議室7

芽室町教育委員会生涯学習課スポーツ振興係

○会議次第

1 開 会

2 委嘱状交付

3 議 件

(1) 委員長・副委員長の選出

委員長 \_\_\_\_\_ 副委員長 \_\_\_\_\_

(2) 報告事項

- ・年間行事予定について
- ・茅室町営水泳プール等整備事業について

(3) 協議事項

- ・チャレンジデー2022について

4 そ の 他

5 閉 会

○出席委員

貫田 正博、五十川 秀子、橋詰 義宏、田村 秀直、大熊 美由紀、  
丹野 寛、宿谷 貴博、矢後 浩史、大丘 輝元、松尾 雄斗

○欠席委員

なし

○事務局

生涯学習課長	日下 勝祐
スポーツ振興係長	梅森 祐之
スポーツ振興係主事	森山 拓也
スポーツ振興係主事	川瀬 吉澄
地域おこし協力隊員	横野 純貴

午後 6 時 30 分開会

1 開会

【日下課長】

(日下課長より開会の言葉)

2 委嘱状交付

【日下課長】

従来であれば、おひとりおひとりに教育長からお渡しするところだが、新型コロナウイルス感染防止の観点から机上にあらかじめお配りすることで、委嘱状の交付とさせていただく。

3 自己紹介

【事務局及び各委員】

4 議件

(1) 委員長・副委員長の選出

【日下課長】

それでは議件(1)委員長・副委員長の選出について、委員長の選出方法についてご提案はあるか。

【橋詰委員】

推薦でよいのではないか。

【日下課長】

どなたか推薦をお願いする。

【橋詰委員】

コロナ禍で前回任期は十分に活動できなかったこともあり、前回に引き続き貫田委員を委員長に推薦する。

【日下課長】

貫田委員を委員長に推薦するとの意見があったが、いかがか。

【委員】(異議なし)

【日下課長】

続いて、副委員長の指名を貫田委員長お願いする。

【貫田委員長】

副委員長は田村委員を指名したい。

【日下課長】

田村委員を副委員長に推薦するとの意見があったが、いかがか。

【委員】(異議なし)

【日下課長】

それでは、貫田委員に委員長を、田村委員には副委員長をお願いしたい。これ以降の議事進行は、貫田委員長にお願いする。

【貫田委員長】

新たな三人を迎える、議論を進めてまいりたい。

(2) 報告事項

【貫田委員長】

それでは(2)報告事項 年間行事予定について事務局から説明をお願いする。

**【梅森係長】**

資料をもとに（2）報告事項 年間行事予定について説明。

**【貫田委員長】**

（2）報告事項 年間行事予定について何か質問はあるか。

**【丹野委員】**

チャレンジデーについて記載があったが、現在の新型コロナウイルスの拡大状況から見ると中止もあり得るのだろうか。

**【日下課長】**

チャレンジデーについては、協議事項にて詳しく説明させていただきたい。

**【貫田委員長】**

（2）報告事項 芽室町営水泳プール等整備事業について教育委員会から説明をお願いする。

**【梅森係長】**

資料をもとに（2）報告事項 芽室町営水泳プール等整備事業について説明。

**【貫田委員長】**

（2）報告事項 芽室町営水泳プール等整備事業について何か質問はあるか。

→質問なし。

**（3）協議事項**

**【貫田委員長】**

（3）協議事項 チャレンジデー2022について教育委員会から説明をお願いする。

**【森山主事】**

資料をもとに（3）協議事項 チャレンジデー2022について説明。

- ・新型コロナウイルスの影響で昨年、一昨年と事業を実施できていないが、今年度は実施したい。
- ・期日は令和4年5月25日（水）に秋田県三種町を対戦相手に実施予定。
- ・コロナ禍であるが、事業に参加しないのではなく、状況を見ながら可能な範囲で事業を計画し、運動の習慣化を周知することに重点を置いた事業したい。
- ・事務局としては大勢が集まってのイベントについては状況を見ながら見極めたい。
- ・実行委員会の構成について、これまで多くの中の団体に声をかけて、協力を依頼してきたが、コロナ禍で事業を縮小し実施したいと考えていることから、実行委員会の規模も縮小し、これまで中心となって活動いただいた「スポーツ推進委員」と「社会教育委員」の皆様で構成したいと考えています。
- ・今年度事業を実施し、振り返りを行い、今後も続けていくのか、全く違った方法をとって運動の習慣化を周知するのか検討したいと思っています。

**【貫田委員長】**

集まってやらないにしても、実行委員会の構成メンバーを絞って実施するが対外的なアピールにつながるのか疑問に思っている。無理に今年やるのではなく、一年かけてどうするか議論すべきではないか。狭い中で今後を考えるのではなく、実行委員会についても公募するなどして広く委員を募るべきと考える。現在の状況を見ると事業の実施についても難しい面があると思う。

### 【日下課長】

体育施設についても閉鎖しておらず、感染対策を実施した上で開放していることから、できる事を実施しようという考え方である。これまで通り多くの人を集めて事業を行うことを想定しておらず、実行委員に担っていただく役割が減少することから、実行委員のメンバーを限定することを提案させていただいたもの。

実施した結果はたくさんの方と共有し、今後について検討したいと思っている。事務局としても本来は多くの皆さんのご意見をいただくことが望ましいと思っている。

### 【貫田委員長】

チャレンジデー及び実行委員の構成メンバーのあり方について、委員の皆様のご意見を伺いたい。

### 【五十川委員】

現在のコロナの感染状況から、個人としては人の集まるところは避けたいと思っている。事業についても、例年、昼間の時間帯に実施することから人を集めのに苦労している印象であり、現在の状況で来られる方がどれほどいるのかと思っている。多くの事業をやる必要はなく、外でできる簡単なもの（ラジオ体操、ウォーキング等）に絞ったりするとよいのではないか。

実行委員会については準備期間が短いこともあり、今回は事務局から提案があつた内容でよいと思う。

### 【橋詰委員】

これまでも、主に動いていた方の多くはスポーツ推進委員と社会教育委員であることから、メンバーは提案のものでいいのではないか。

### 【田村委員】

構成メンバーは提案の内容で増やさなくてよいと思う。今後もコロナ禍での事業となり、人を多く集める形ではなく、個人に対して呼びかけをし、報告をもらうことがベースになるのではないか。事業を個人で参加できるものに絞って、個人の習慣化につなげられるとよいと思う。

### 【大熊委員】

現在の状況から個人的には人の集まるところにはなるべく行きたくない。内容としても人を集めるものに対しては疑問があるところ。事業を実施するのであればかぎられたものの中でやるのがよいと思う。

### 【丹野委員】

実行委員のメンバーはあとひと月くらいということもあります、提案いただいたものでよい。事業の内容としては、やれる範囲の中で無理なくできればよいと思う。

チャレンジデーについては、10年目で見直すとしていたが、のびのびになっている。今年実施してみて、方向性を見直すチャンスではないか。

### 【宿谷委員】

実行委員会のメンバーは提案いただいたものでよい。事業内容については、室内の競技は避けていただきたい。提案いただいた事業案を一旦白紙に戻し、屋外でできるものなどに再検討した方がよいと考える。

この2年間、コロナ禍ということで体力が低下している人が多くいると思う。体力増進への対処のひとつとしてチャレンジデーが活用できればよいのは。

### 【矢後委員】

構成メンバーは絞っていと思う。

事業内容については、スポーツだけではなく、健康増進の面を打ち出すことがより必要と考えている。コロナ対策の意味から屋外の事業を中心に検討いただきたい。

**【大丘委員】**

構成メンバーは日数も短いので、ご提案いただいたものでよいと思う。

事業内容については、縄跳びなど簡単に参加できるものから参加してもらえるとよいのではないか。子ども達にとっても学校の休み時間などで簡単に取り組めると思う。

**【松尾委員】**

構成メンバーはご提案いただいたものでよい。

今後、チャレンジデー 자체をどう進めるかについては各団体と意見交換をする必要があると思う。

事業については、屋内が多いので、屋外をメインとする方がよいのではないか。周知を工夫することで、日頃より運動に対して意識されるのではないかと思う。

**【貫田委員長】**

皆様の意見を踏まえ、実行委員会のメンバーは事務局からの提案があったものとしたい。全体を通して日下課長からなにかあるか。

**【日下課長】**

新型コロナウイルスの状況から、25日間に実施できるか判断が必要と思っている。

今回いただいた意見を踏まえ、事業を絞り、個人で参加してもらうものを中心にしていきたい。個人に対し事業趣旨の周知を図る。事業案について事務局で再度作り直し、5月の第1回実行委員会に提示させていただき、そこで判断を伺いたい。

**【貫田委員長】**

その他何かあるか。

**【丹野委員】**

第1回実行委員会は資料にある日程で実施するか。

**【日下課長】**

資料の日程については白紙とさせていただき、第1回実行委員会は改めてご案内する。

**【貫田委員長】**

最後に事務局から

**【日下課長】**

チャレンジデーについて、今年の実施状況を踏まえ、今後のあり方について、皆様と議論させていただきたい。

閉会 午後7時30分終了